

2021年9月19日CS レジューメ (参考資料:「成長」)

CS (教会学校) のみなさま、
おはようございます! 今朝も聖書のみ言葉を共に学びましょう。

【テーマ】「ルツの信仰」

【聖書のみ言葉】少し長いですが、ルツ記1:1-22 を読みましょう。

【み言葉の説明】

ベツレヘムの町にエリメレクとナオミという神様を信じるイスラエル人の夫婦がいました。ところが、悪い天候が続いて、畑の作物が全く取れなくなってしまいました。困り果てた夫婦は、二人の息子を連れて、モアブという外国の地に引っ越しました。

モアブでは、本当の神様を信じる人はいませんでした。でも、ナオミの家族は本当の神様を信じて、モアブの人とも仲良く暮らしました。ところがある時、夫のエリメレクが亡くなってしまいました。そして、モアブの女の人と結婚した二人の息子も、亡くなってしまったのです。

ナオミは深く悲しみました。モアブの二人のお嫁さんとこれからどうやって暮らしていけばよいのだろう。そんな時、故郷のベツレヘムで畑の作物が取れるようになったという噂を聞きました。ナオミは、お嫁さんのルツとオルパに言いました、「私は故郷のベツレヘムに帰ることにしました。でも、あなたたちにとっては外国なので、きつとつらい思いをするに違いないわ。あなたたちはモアブに残りなさい。」オルパはとても迷いましたが、ナオミの言う通り、モアブに残ることにしました。しかし、ルツは「私もあなたと一緒にいきます。あなたが信じている神様を私も信じているのです。」と言って、ナオミと一緒に行くことにしました。ルツは、ナオミと暮らしているうちに、本当の神様を信じるようになっていたのです。ルツの決心が固いことを知ったナオミは、ルツを連れていくことにしました。

二人は無事にベツレヘムに着いて、ナオミの町の人々から歓迎されました。家族を亡くした悲しさを忘れることはできませんが、神様と一緒にいて慰めてくださったのです。

【み言葉の適用】

私たちも、ルツのように本当の神様を信じて従う者となりましょう。神様はどんな時でもいつも一緒にいてくださいます。

【お祈り】

神さま、どんな時でもあなたを信じて従う者とさせてください。アーメン。

ありがとうございました! 新しい一週間も神さまの祝福が豊かにありますように!